

令和5年（2023）度 低炭素まちづくり計画（エコまち計画）の進捗状況について

【エコまち計画に定められた取組目標】

<p>○温室効果ガス排出量 整備段階（2019年度）で一般的な街区※1に 比べ30%削減。長期的には75%削減</p> <p>※1：CASBEEの建築用途別排出原単位を参考 （計画pp36-37記載）</p>	<p>○上水使用量 地下水、雨水、下水酵素処理水等の利用による削減 （※定量的な目標値は設けず）</p>	<p>○緑被率 「ベース緑」+「クオリティみどり」による評価 （地区全体）40% （緑のふれあい交流創生ゾーン1）60% （緑のふれあい交流創生ゾーン2）40% （医療健康及び教育文化創生ゾーン）35%</p>	<p>○総合環境性能 CASBEEによる評価でSランク</p>
--	--	---	-------------------------------------

施設名称	医療・健康及び教育文化創生ゾーン			緑のふれあい交流創生ゾーン2		緑のふれあい交流創生ゾーン1
	国立循環器病 研究センター	市立吹田市民病院	VIERRA岸辺健都	patona吹田健都	JR貨物所有地 （未施工）	健都ライブラリー
敷地面積 (㎡)	30,585.17	17,813.69	8,235.71	4,172.20	-	2983.35
延床面積 (㎡)	129,756	46,239.92	27,022.21	9,466.38	-	1859.16
緑被率 (敷地単位)	51.82%	37.00%	14.12%	30.09%	-	63.30%
ベース緑	13.08%	20.67%	12.59%	25.10%	-	17.48%
クオリティみどり	38.74%	16.33%	1.54%	4.99%	-	45.82%
（ゾーン全体）	41.68% ≥ 35% (目標)			30.09% ≤ 40% (目標)		63.30% ≥ 60% (目標)
CO2排出量※2 (t-CO2/年)	14,988	3,863	1,379	405	-	31
CO2原単位※3 (kg-CO2/年㎡)	115.51	83.54	51.02	42.82	-	16.93
一般的な街区におけるCO2原単位	264.54	190.7	78.33	53.4	-	37.4
CO2排出量削減率 (目標30%)	56%	56%	35%	20%	-	55%
上水使用量 (㎡)	74,026	43,875	44,392	13,209	-	728
総合環境性能 (CASBEE)	S	S	B+	A	-	S
節水に努めている事例等	井水：2本	井戸：1本 井水を雑用水（トイレの排水等）に使用する過装置経由で院内へ送水	自動洗浄小便器（3基）・自動水栓（2箇所）《2階男子WC》 自動水栓（4箇所）《2階女子WC》、雨水再利用タンク《屋外》	自動洗浄小便器（5基）・節水型トイレロータンク（111基）、自閉水栓（8箇所）の利用	-	建物周囲の植栽の灌水は、工業用水を使用。
エコまち計画に記載される取組に関連する取組や持続可能なまちとして来訪者等へPRできる取組	-	クール・ヒートピットの採用で空調のエネルギー削減、太陽光発電、井水・雨水の利用、照明がすべてLED	ソーラーウインド街路灯、スラグ融合インターロッキング、細霧冷房、雨水利用、駐輪場692台分（付置義務分除く）整備、普通型電気自動車充電スタンド	コミュニティスペースを活用したセミナー開催等	-	壁面緑化、太陽光パネル設置、夏期グリーンカーテン、秋期ダウンライトカフェ

※2 各事業者からの報告値を記載（小数点第一位四捨五入）

※3 CASBEE2016（pp243-244）新築を参考。電気排出係数は関西電力（2023年度公表値）を使用（小数点第三位四捨五入）

国循、市民病院の原単位は、計画 p 37記載の2012年原単位を2023年の最新値で換算

VIERRAの原単位は、物販、ホテル、飲食店、スポーツ施設等用途別に原単位を算出。共用・駐車場部分等該当区分がないものは事務所扱い

patona吹田健都は、集合住宅（占有部）及び事務所（事務所）、健都ライブラリーの原単位は、事務所（官公署）として算出